

## 重症心身障害児（者）のための新たな食形態「まとまりペースト食」開発の試み

つばさ静岡 府川恭子 鈴木崇之 村上哲一  
浅野一恵 山倉慎二  
静岡県工業技術研究所 渡瀬隆也

### Attempt of new food style "Settlement paste food" development for severely retarded children (person)

Kyoko Fukawa, Takayasu Suzuki, Tetsukazu Murakami,  
Kazue Asano, Shinji Yamakura and Takaya Watase

重症心身障害療育学会誌第6巻第2号, 191-197, 2011

嚥下機能が低下した重症心身障害児（者）（以下、重症児（者））に対して、ペースト食を提供してきたが、医師、作業療法士、栄養士、調理師による摂食チームで評価してきた結果、これまで提供してきたペースト食で誤嚥し、経口摂取が危険であると判断されるケースを認めた。そのため重症児（者）の摂食嚥下機能の特種性に合わせた、新たな食形態の

開発が必要であると痛感し、「まとまりペースト食」の開発に取り組んだ。食形態の開発をするにあたって食べやすさ、見た目、食感、香り、味わいなども重要視した、食べる方の立場にたった食事作りを目標とした。開発した「まとまりペースト食」を重症児（者）に実際に提供し、経口摂取を続けることの一部を担えたので報告する。